

競技・審判上の注意（PGA 大会用）

- (1) 本大会は2022年度（公財）日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
- (2) 審判は全ての試合、大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは原則としてつけません。
- (3) タイムテーブルは試合の順序を示しています。試合の進行は、「時間帯固定」とします。ただし、館内に選手が全て入場済みとなってからは「流し込み」を行います。アナウンスがあり次第、監督・コーチ・選手は選手召集場所に集合してください。アナウンスには十分注意してください。
- (4) 試合(マッチ)が連続した場合は、原則として前のマッチが終了してから10分後に、次のコールをするものとします。
- (5) 3位決定戦は行いません。
- (6) コートへの入場は、コール後指定されたコートで選手各自にて行います。
- (7) 3年生は21点3ゲーム（延長30点、11点チェンジエンド）、1・2年生は15点3ゲーム（延長1点、8点チェンジエンド）、未就学は11点3ゲーム（延長15点、6点チェンジエンド）とします。
- (8) 勝者確認は、主審が行います。勝者サインは必要ありません。
- (9) すべてのゲーム中に、一方の選手のスコアが3年生11点、1・2年生8点、未就学6点に達した時に、60秒を超えないインターバルを、とることができます。その際、主審が「(コート番号) 20秒」とコールをしたら、すみやかにコート内に入ってください。また、アドバイスなどで、コートに入れるのは同時に1名までであるが、主審の「(コート番号) 20秒」のコールがかかったら、すみやかにコートから離れてください。
- (10) 選手はマッチ中、所定のインターバル以外に、インプレーでないときに限り、アドバイスを受けられますが、試合進行を妨げる（遅延行為）とみなされるものになってはいけません。
- (11) コーチは、許可されたインターバルの間を除き、指定された椅子に着席し、マッチ（試合）中は、立ち上がりたり、コートのそばに立ったりしてはいけません。また、コーチが他のコートへ移動する際はインプレーでない時に行ってください。また、インプレー中に声を出したり、ジェスチャーをしたり等の行為をしないでください。
- (12) 競技フロア内での携帯電話などの使用は一切認めません。また、モバイル機器（携帯電話 ipad など）を用いたマッチ中のアドバイスやコーチングを禁じます。
- (13) コーチ席での服装等は、公認審判員規定第3条第5項(6)②「コートの外からのアドバイス」に準じ、チームユニフォーム・シャツ・ポロシャツ・ブラウス、長ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチスタイル、パミュダ、ショーツ、スリッパとサンダルは禁止とします。競技フロアでは必ず体育館シューズを履いてください。
- (14) 選手はいかなることがあっても、体力の回復を図るためにプレーを中断してはいけません。汗ふきや靴ひもをしめなおすなどのため、進行を妨げない限りでプレーを中断する時は、必ず主審の許可を得てからすみやかに行ってください。
- (15) マッチ中の水分補給は、インターバルの間を除き、主審の許可が出た場合に認めます。なお、使用する容器は、フタやキャップが付いている水分のこぼれないものを使い、各自バッグに収納しコート横にバッグを置いてください。専用のかごは設けません。
- (16) 氷のうはインターバル中のみ使用できます。プレー中は保冷器（クーラーバック）に入れ、コーチ席で保管してください。なお状況により、コーチ席に人が着くことができない場合には主審に申し出てください。
- (17) マッチ中に発生したコート内でのケガや病気に対して、通常コート内に入れるのは、審判長が必要と認めた医療関係者等に限りです。

- (18) 審判員の判定に対して疑問がある場合は、次のサービスが行われる前に、当該選手に限り、主審に質問ができます。それが、「抗議」や「異議」になっては絶対にいけません。
- (19) マッチ中の服装は、白または(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、選手は、ウェア背面上部に、「都道府県名、チーム名、氏名」が明記されているものを必ず着用してください。なお、ゼッケンは本人確認がしっかりできるようにするため、必ず4カ所留めにしてください。チーム名やマークについては、大会運営規定第24条に従い、袖及び胸のいずれかに、50cm²以内のものをつけることを認めます。(但し、上着にプリントしたのもも認める。)また、ゲーム開始時には上衣の裾は下衣の中に入れてください。ゲーム中に出た場合は、インターバル時に再度入れてください。
- (20) マッチ前の公式練習はありませんが、審判の準備が整うまでのウォーミングアップ(1~2分間で対戦相手と打ち合い)を認めます。
- (21) 選手同士や主審等との握手は行いません。
- (22) 線審が明らかに間違った判定をしたと主審が判断したら、主審が判定を訂正することがあります。
- (23) 観客席からの助言や指導、フラッシュ撮影など、マッチの進行に支障があると思われる行為やマナーに反する行為を禁止します。
- (24) マッチ中に試合進行が止まることのある時は、状況に応じて、双方の監督・コーチとその後の対応を協議を行います。

一般注意事項

- (1) 体育館内では、外履きと体育館シューズとの履き替えを行います。必ず、シューズを入れる袋を準備してください。
- (2) 観覧席は地区ブロックごとに場所を指定(表示)してあります。マナーを守ってご利用ください。
なお、盗難事故が多発しております。各自、貴重品等の管理をお願いします。
- (3) ゴミは各自持ち帰るようにお願いします。
- (4) 体育館内での手指消毒を徹底してください。
- (5) 常時マスクを着用してください。(競技及びウォーミングアップを除く)
- (6) 常に周りの人とのソーシャルディスタンスの確保に努めてください。
- (7) 「3密」(密閉空間・密集場所・密接場面)の回避に努めてください。
- (8) 37.5℃以上の発熱、咳喉の痛み、味覚嗅覚の異常などの体調不良がある場合は参加を自粛してください。
- (9) 館内での大声での会話・応援は自粛してください。(拍手で応援)
- (10) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、体育館内では黙食にご協力ください。
また、観覧席に団旗等は設置しないでください。
- (11) 監督・コーチはマッチ終了後は、コーチ席に備え付けのアルコールシートで消毒を行って下さい。

感染症予防に関して

- (1) 競技中の水分補給は両会場とも随時認めます。(ただし主審の許可を得た時に限ります。)
審判員・競技役員にも徹底させます。
- (2) 各会場においては館内の湿度・温度を常に監視して常時換気のために窓・出入口の開放を行います。